

# 大町市史第二卷(原始・古代・中世)目次

口 絵

刊行のことば

例 言

## 第一編 原 始

第一章 旧石器(先土器)時代	三
第一節 概説—狩りする人々—	三
一 人類の誕生	三
二 日本の旧石器時代研究	四
三 旧石器時代の景観	五
四 日本の化石人類	六
五 旧石器時代の生業	六
六 石器の種類とその変遷	七
七 旧石器時代の社会	八
八 旧石器時代の終り	一〇

## 第二章 繩文時代

第一節 概説—森と川に生きる人々—	七
第一節 大町市のあけぼのとクマンバ 遺跡	三
一 長野県下の旧石器時代遺跡	三
二 野尻湖調査に学ぶ	三
三 クマンバ遺跡の発見	三
四 クマンバ遺跡と旧石器	四
1 大町市のあけぼの	六

一 縄文時代の古さと長さ	七
二 縄文時代の自然環境	元
三 縄文時代の変遷	三
1 草創期・早期	四
2 前期	元
3 中期	三〇
4 後期	三
5 晩	三
第二節 大町市内の縄文時代遺跡と遺物	毛
1 クマンバ遺跡と縄文時代早期の遺跡	毛
2 その他の早期遺跡	元
二 上原遺跡と縄文前期の遺跡	四
1 上原遺跡	四
遺跡の発見と調査／上原遺跡の遺構	四
／上原遺跡の石器／上原遺跡の土器	四
三 まねき遺跡と縄文中期の遺跡	空
1 まねき遺跡	空
2 その他の中期遺跡	空
四 北山平遺跡と縄文後期の遺跡	七〇
五 縄文時代人の精神生活	九一
1 環状石籬	九三
2 土偶と亀型土製品	九三
3 石棒と石劍	九三
4 矢沢石	九三
六 大町市および北安曇郡内の遺跡数	六
七 栃が原遺跡と縄文晚期遺跡	七
1 栃が原遺跡	七
2 その他の縄文晚期遺跡	七
八 第三節 縄文時代人の生活	六
一 縄文時代人の身体	六
二 縄文時代人の衣服	八
三 縄文時代人の住居	八
四 縄文時代人の食生活	八
1 釜でゆでる	八
2 乾燥する	八
3 皮と実のえり分け	八
4 アク出し	八
5 食べ方	八

### 第三章 弥生時代

第一節 概説—稻を作る村—	一	七
第二節 大町市内の弥生時代遺跡	一〇〇	一〇〇
一 古城遺跡と段丘上の村々	一〇〇	一〇〇
一 古城遺跡	一〇〇	一〇〇
二 卯館遺跡	一〇〇	一〇〇
三 道ばた遺跡	一〇〇	一〇〇
四 中城原遺跡	一〇〇	一〇〇
五 堀跡遺跡	一〇〇	一〇〇
六 二本松遺跡	一〇〇	一〇〇
七 寺畑遺跡	一〇〇	一〇〇
二 農具川べりの村々	一〇〇	一〇〇
一 森城跡遺跡	一〇〇	一〇〇
二 借馬遺跡	一〇〇	一〇〇
三 来見原遺跡	一〇〇	一〇〇
四 コボレ沢遺跡	一〇〇	一〇〇
三 西山の麓の村	一三	一三
第三節 周辺の弥生時代遺跡	一三	一三
一 松川村の遺跡	一三	一三

### 第四章 古墳時代

第一節 概説	一	一
第二節 大町市の古墳	一	一
一 新郷一号墳と平地区の古墳群	一	一
二 池田町の遺跡	一	一
三 姫川流域の遺跡	一	一
四 東部山中の遺跡	一	一
第四節 人びとの暮らしと道具	一	一
一 弥生式土器	一	一
二 弥生式石器	一	一
三 人びとの暮らし	一	一
一 衣	一	一
二 食	一	一
三 住	一	一
四 信 仰	一	一
第五節 上諏訪社の銅戈	一	一

第一節 概説	一	一
第二節 大町市の古墳	一	一
一 新郷一号墳と平地区的古墳群	一	一
二 池田町の遺跡	一	一
三 姫川流域の遺跡	一	一
四 東部山中の遺跡	一	一
第四節 人びとの暮らしと道具	一	一
一 衣	一	一
二 食	一	一
三 住	一	一
四 信 仰	一	一
第五節 上諏訪社の銅戈	一	一

二 大篋一号墳と大町地区の古墳群 ..... 一四

三 社地区の古墳 ..... 一四

第三節 周辺地区の古墳 ..... 一四

## 第二編 古代

### 第一章 古代の官道「三坂峠道」と阿倍氏

一毫

### 第三章 仁科御厨の設定

一毫

第二節 信濃国 の成立

一毫

第三節 安曇郡と郷

一毫

第一節 概説

一毫

第二節 仁科御厨の設定と仁科神明宮

一毫

第三節 仁科御厨の設定

一毫

### 第二章 古代の信濃国と安曇郡の成立

立 ..... 一毫

第一節 概説 ..... 一毫  
第二節 「三坂峠」の存在と意義 ..... 一毫  
第三節 小谷村の「三坂峠」・「三坂峠道」の状態 ..... 一毫

### 第四章 古代・中世の生活と信仰

一 天

第一節 概説 ..... 一毫  
第二節 古墳時代の村 ..... 一毫

第一節 「大道」 ..... 一毫  
第二節 「沓掛」 ..... 一毫  
第五節 大和の古代氏族阿倍氏の信濃入り ..... 一毫

第三節 奈良時代の村 ..... 一毫

入り ..... 一毫

第四節 平安時代の村	一四	5 間田の五輪石	三九
第五節 鎌倉・室町時代の村	一五	6 山寺五輪塔	三九
第六節 信仰の諸相	一五	7 仁科盛忠塔	三〇
一 自然神を祀る	一五	8 大澤寺五輪塔	三〇
二 仏教の移入	一五	9 靈松寺および大澤寺の無縫塔群	三一
三 修驗者の活動	一九		
四 さまざまな神仏頼み	二〇		

第七節 大町市の古墓	二四		
一 概 説	二四		
二 五十畳古墓群	二六		
三 神明原火葬墓	三一		
1 遺構と出土状態	三一		
2 遺 物	三一		
3 歴史的環境	三三		
四 山寺廃寺址火葬墓群	三三		
五 その他の古墓	二六		
1 伝清水備後守墓塔	二七		
2 伝矢口筑前守墓塔	二七		
3 須沼主税供養塔	二八		
4 仁科神社境内墓塔群	二八		

## 第三編 中 世

### 第一章 治承・寿永の源平争乱と仁科氏

第一節 概 説	三七
第二節 平氏政権と源氏の蜂起	三八
第三節 仁科盛家と源平の争乱	三九

### 第二章 承久の乱と仁科氏

第一節 概 説	三四
第二節 承久の乱の発端	三四
第三節 仁科盛遠と承久の乱	三四

第三章 仁科庄と千国庄	一	仁科氏と信濃の国人	二
		仁科氏勢力圏の拡大	三
		信濃の戦乱	四
第一節 概 説	三三	宗良親王の入信と明光宮の下向	五
第二節 仁科庄	三三	仁科右馬助と仁科兵庫助	六
第三節 千国庄	三三	南北朝期の仁科氏に関する若	七
第四節 仁科神明宮棟札にみられる氏	三三	干の考察	八
人の考察	三三	1 『太平記』にみられる「信濃守氏重」と「信濃守重貞」は同一人物ではない	九
第五節 仁科神明宮と若一王子神社の	三三	2 東山道軍中の「仁科」と『建武年間記』の「左近大夫盛宗」が同一人である可能性	一〇
祭祀の関連	三三	3 「信濃守重貞」と「左近大夫盛宗」が同一人である可能性について	一一
第四章 南北朝の争乱と仁科氏	三三	4 東山道に遅れて加わった「仁科」が在地の仁科氏である可能性	一二
第一節 概 説	三三	5 「仁科右馬助」は在地仁科氏の中心人である	一二
第二節 南朝と中央における仁科氏の	三三	6 南朝方であった在地仁科氏が永和二年	一二
動向	三三	仁科神明宮木造棟札(重文)でなぜ北	一二
一 仁科氏の南朝参加	三三		
二 仁科重貞(氏重)の奮戦	三三		
三 足利氏の内訌と仁科盛宗	三三		
四 信濃の南朝と仁科氏	三三		

朝年号を使用しているか..... 三九

第五章 仁科氏と小笠原氏の抗争 ..... 三〇

第一節 大文字一揆と大塔合戦 .....	三〇
一 小笠原氏の勢力伸張 .....	三〇
二 大文字一揆と仁科氏 .....	三五
三 大塔合戦と仁科盛房 .....	三六
第二節 信濃の平定 .....	三三
一 大塔合戦後の状況 .....	三三
二 小笠原政康の守護補任 .....	三四
第三節 小笠原氏の内訌 .....	三六
一 政康の死と小笠原氏の分裂 .....	三六
二 府中小笠原氏の成立 .....	三七
第四節 仁科氏の衰退 .....	三九
一 仁科氏の領域 .....	三九
二 仁科氏の復権 .....	三九
三 仁科氏の衰退 .....	三九

第六章 禅宗の普及 ..... 三六

第一節 禅宗の普及と僧良本 .....	三六
第二節 靈松寺の開創 .....	三七
第三節 大澤寺の開創 .....	三七

第七章 戦国時代 .....
 三一 |

第一節 武田信玄の中信への侵攻 .....	三一
第二節 武田信玄の安筑侵入と仁科氏 の動向 .....	三九
一 武田信玄の安筑侵入 .....	三九
二 武田勢の動きと仁科盛康 .....	三九
第三節 武田統治下の仁科氏 .....	三一
一 仁科氏の武田出仕 .....	三一
二 仁科氏と川中島の戦い .....	三一
三 仁科盛政の最後 .....	三一

第四節 仁科盛信の入郡と支配 .....	三九
一 盛信の入郡 .....	三九

二 盛信の越後西浜への侵出	四〇三
三 戦国時代の仁科氏居館	四三
四 盛信の最後	四六
<b>第五節 小笠原貞慶の安筑支配</b>	四七
一 小笠原貞慶入府	四〇
二 仁科一族の離散	四六
三 小笠原氏の統治	四七

## 第四編 美術工芸と城館跡

<b>第一章 古代中世の美術工芸</b>	四三
第一節 概 説	四三
第二節 絵 画	四三
第三節 書 蹟	四三
一 調 布 銘	四三
二 木造千手觀音胎内納入木札銘	四三
三 墨書土器	四三
四 写 経 石	四三
五 御正体鏡背銘	四三

六 鉄製鰐口銘	四三
七 重要文化財木造棟札二七枚	四三
<b>第四節 彫 刻</b>	四三
一 重要文化財銅造菩薩半跏像	四三
二 県宝木造聖觀世音菩薩立像	四三
三 県宝木造毘沙門天立像	四三
四 市指定文化財銅造十一面觀音坐像	四三
五 重要文化財木造千手觀音立像	四三
多聞天立像 木造持國天立像他	四三
六 木造毘沙門天像頭部	四三
七 市指定文化財木造藥師如來坐像	四三
八 市指定文化財木造不動明王立像	四三
九 木造如意輪觀音坐像	四三
一〇 木造藥師如來立像	四三
一一 姥尊坐像	四三
一二 木造阿彌陀如來立像	四三
<b>第五節 建 築</b>	四三
一 重要文化財盛蓮寺觀音堂	四三
二 重要文化財沢渡神明社・諏訪社本	四三
三 墓	四三
四 墓	四三
五 墓	四三

三	重要文化財若一王子神社本殿	兜一
四	彈誓寺觀音堂	兜一
第六節	工芸	兜一
一	金工	兜一
2	重要文化財御正体五面・他御正体	兜一
3	刀劍	兜一
4	上古刀／中世の刀劍	兜一
	市指定文化財山寺廃寺跡出土遺物	兜一
第二章	大町市内の城館跡	兜一
第一節	概説	兜一
第二節	各城館跡の現況	兜一
一	館之内居館跡	兜一
二	南城および北城跡	兜一
三	青木城跡	兜一
四	古城居館跡	兜一
五	丑館居館跡	兜一
六	丹生子城跡	吾三
七	城の峰城跡	吾四
八	天正寺居館跡	吾七
九	大念寺居館跡	吾七
一〇	北原居館跡	吾六
一一	南原居館跡	吾九
一二	妙喜庵居館跡	吾九
一三	旧青竜寺跡	吾二
一四	森城跡	吾二
一五	猿が城跡	吾五
一六	駒沢城跡	吾六
一七	飯縄城跡	吾七
一八	西山城跡	吾七
一九	大崎城跡	吾十
二〇	清水城跡	吾二
二一	須沼氏居館跡	吾三
第三節	特殊な山上遺跡	吾三



第三節 横断用水路による計画開発	……	堯五	第六節 近世の開発	……	堀七
一 農具川より取水する横堰	……	堀五	一 社新堰	……	堀七
二 居谷里を水源とする居谷里堰	……	堀六	二 新切堰	……	堀八
三 橫堰・居谷里堰の開さく経緯	……	堀九	第七節 仁科御厨を中心とした開発経緯	……	堀八
第四節 館之内を中心とした段丘上の開発	……	堀一			
第五節 仁科御厨の開発	……	堀二			
一 仁科御厨の創建	……	堀三			
二 開田	……	堀四	第一節 概 説	……	堀一
1 沢水による段丘上の開発	……	堀四	第二節 農具川水系による開発	……	堀一
2 押沢の天井川と段丘下の水田	……	堀五	一 大町平の開発	……	堀一
三 曽根原	……	堀七	二 町川による大町の誕生	……	堀一
1 沢水・湧水による段丘上の開発	……	堀七	三 低湿地帯の開発	……	堀一
2 押沢の天井川と段丘下の水田	……	堀九	四 分水堰と分水の開発	……	堀一
四 宮 本	……	堀九	五 居谷里沢と米見原・大笹の開発	……	堀一
1 沢水による段丘上の開発	……	堀九	第三節 鹿島川水系による開発	……	堀一
2 宮ヶ沢(神明沢)と古代水路	……	堀九	一 仁科氏による大町の計画開発	……	六三
3 押沢の天井川に庇護された段丘下の古田開発	……	堀九	二 御所川による仁科氏居館の創建	……	六八
4 神明宮の祈年祭神事と灌漑	……	堀五	三 町川(南荒沢)と市場町の固定	……	六〇

#### 四 中壩と高根の開発 :

立云

#### 第四節 古社寺と用水路 :

立云

- 一 北荒沢と若一王子神社・彈誓寺 ..... 立云

- 二 天王沢の八坂神社と里宮 ..... 立云

#### 第五節 近世用水路による開発 :

立云

- 一 大藏宮堰と高根新田 ..... 立云

- 二 大町新堰と大原・中原 ..... 立云

### 第四章 平村の開発 :

立云

#### 第一節 概 説 :

立云

#### 第二節 農具川水系による開発 :

立云

- 一 借 馬 ..... 立云

- 1 はり川・飯島堰と借馬遺跡 ..... 立云

- 2 中沢・上堰と借馬 ..... 立云

- 3 借馬春堰と借馬 ..... 立云

- 4 借馬開発の経緯 ..... 立云

#### 二 木 崎 :

立云

- 1 木崎堰と木崎 ..... 立云

- 2 中沢と借馬遺跡B地区・C地区・など めき遺跡 ..... 立云

立云

### 第三節 鹿島川水系による開発 :

立云

#### 一 森 :

立云

- 1 集落の景観 ..... 立云

- 2 広大な湿田の広がる西田圃 ..... 立云

- 3 古代水路の前堰と苗間堰 ..... 立云

- 4 森堰による中世の開発 ..... 立云

- 5 とぼり堰と開発 ..... 立云

#### 二 二 ツ 屋 :

立云

- 1 湾水による村の誕生 ..... 立云

- 2 大澤寺の創建と開発 ..... 立云

#### 三 鹿 島 :

立云

#### 四 源 泊 :

立云

- 1 集落の景観 ..... 立云

- 2 東・中・西堰と源汲 ..... 立云

- 3 上手村 ..... 立云

- 4 中村 ..... 立云

- 5 押出 ..... 立云

- 6 下原 ..... 立云

- 7 大ノ津 ..... 立云

#### 五 野 口 :

立云

- 1 集落の景観 ..... 立云

2 野口堰による開発	2 集落の景観
3 上手村	3 加賀新田
4 新屋	1 集落の景観
5 中村	2 和知場
6 本村	3 蔽沢
7 久保	4 棚口
8 大宮神明宮の立地と開発	年表
9 北条屋敷	あとがき
10 大出	参考文献
第一稿 尾	執筆者一覧
1 集落の景観	
2 古社寺の立地と開発	
3 雨池の築造	
4 錫治屋敷その他	
二海の口	
1 押出し扇状地上の東海の口	
2 塩の道に沿う西海の口	
三中綱	
四青木	
1 村の故地エピスマ	